

12月行事予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 ちよきんたいそう 貯筋体操(ひまわり) 9:00~10:30 けんこうたいそう やまねかわい 健康体操(山根会) 13:30~15:00	2 たいきょくげん 太極拳 9:30~10:30 スローエアロピック 19:00~21:00	3 ちよきんたいそう 貯筋体操 (スイートピー) 9:30~/10:30~	4	5 たっきゅう 卓球クラブ 9:30~11:30	6
7 四国中央市 じんけん 人権のつどい	8 ちよきんたいそう 貯筋体操(ひまわり) 9:00~10:30 けんこうたいそう やまねかわい 健康体操(山根会) 13:30~15:00	9 たいきょくげん 太極拳 9:30~10:30	10 ちよきんたいそう 貯筋体操 (スイートピー) 9:30~/10:30~	11	12 たっきゅう 卓球クラブ 9:30~11:30 めいそうかい マインドフルネス瞑想会 10:30~11:30 りょうりきょうしつ ふれあい料理教室 10:00~	13 きゅうじつかいかん び 休日開館日 マインドフルネス瞑想会 10:30~11:30 たっきゅう 卓球クラブ 13:30~15:00
14	15 ちよきんたいそう 貯筋体操(ひまわり) 9:00~10:30 けんこうたいそう やまねかわい 健康体操(山根会) 13:30~15:00	16 たいきょくげん 太極拳 9:30~10:30 スローエアロピック 19:00~21:00	17 ちよきんたいそう 貯筋体操 (スイートピー) 9:30~/10:30~	18 きつさ ふれあい喫茶 9:30~	19 こ 子ども会 かい クリスマス会 じゅんで 準備	20 こ 子ども会 かい クリスマス会
21	22 ちよきんたいそう 貯筋体操(ひまわり) 9:00~10:30 けんこうたいそう やまねかわい 健康体操(山根会) 13:30~15:00	23 たいきょくげん 太極拳 9:30~10:30 めいそうかい マインドフルネス瞑想会 19:30~20:30	24 ちよきんたいそう 貯筋体操 (スイートピー) 9:30~/10:30~	25 かんないせいそう 館内清掃	26 かんないせいそう 館内清掃	27 きゅうかん び 休館日
28 きゅうかん び 休館日	29 きゅうかん び 休館日	30 きゅうかん び 休館日	31 きゅうかん び 休館日	1/1 きゅうかん び 休館日	1/2 きゅうかん び 休館日	1/3 きゅうかん び 休館日
1/4 きゅうかん び 休館日						

※予定は変更になる場合があります。

【お知らせ】 ○川之江ふれあい料理教室(第7回) 12月12日(金) 10時00分~
○ふれあい喫茶(第9回) 12月18日(木) 9時30分~

かわのえ隣保館だより

2025年(令和7年)12月発行号 電話/FAX 0896-28-6254

人気や流行と人権

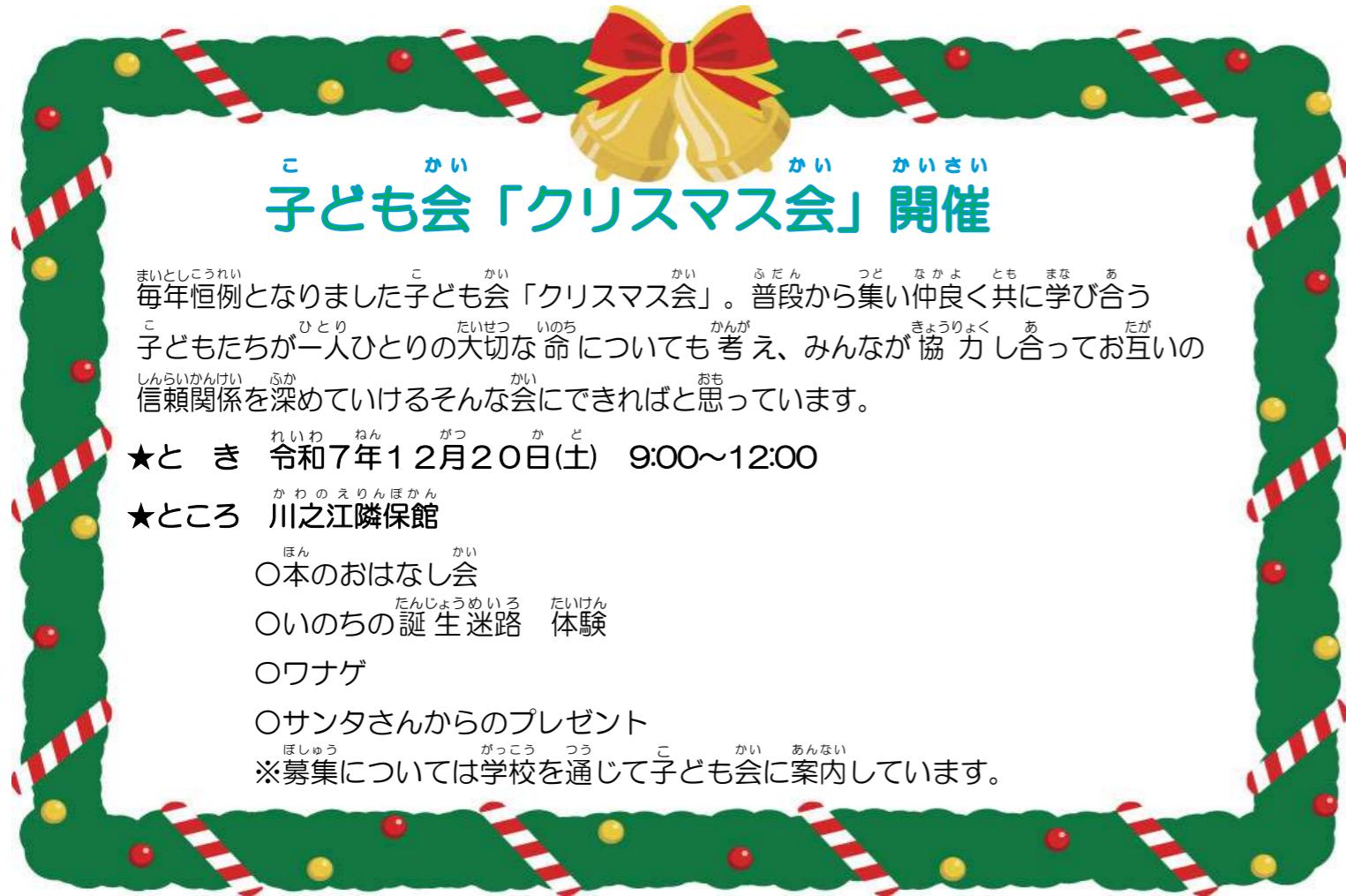
「ポピュリズム」という言葉を最近よく耳にしませんか? この言葉は「多くの人々の支持を集める」という意味合いで、人気があること、多くの人に支持されることを表す言葉の「ポピュラー」に近いように感じます。しかし、「ポピュリズム」は日本ではよく「大衆迎合主義」という言い方で使われていて、言葉が持つ意味である、広く一般に受け入れられる行動ではなく、まるで悪いことをしているように聞こえます。

このように似たような言葉も状況や使い方で、まるで逆の意味を持つことがあります。従つて、物事はいろいろな角度から検証して進めることが大事で、当事者間だけでなく、時には第3者的な目線で見て、物事を捉えていく視点も大事なのかなと思います。ただ、大半の人は、その時の流行やメディアなどで多く取り上げられることに興味が偏りやすい傾向になりがちではないでしょうか。しかし、流行語も一時の流行として多くの人が多用していても、いつのまにか時代と合わなくなり、長い間使われず風化してしまうことは数多くあります。このように、今の最先端の言葉・文化の流行が、ずっと続くように思えても、その人気はこの先も変なことは少なく、時代とともに変化します。しかし、時代が変わっても人が生まれながらに持つ人権に対する意識、不合理で許されざる行為であるという差別に対する意識は、どの時代においても、変わることはありません。しかし、共通認識を持っているのに、差別は時代を超えて残り続けています。時代の流れや周りの人にも流れ過ぎないことも大事で、正しい言葉や正しい知識を身につけて、言葉の持つ意味を自分の中で常に考えながら、間違った表現で相手を傷つけてしまわないように、人権感覚を磨いていくことが大事です。言葉は気をつけておかないと、表現一つで、人の心を打ち砕くようにもなりかねません。そのことを日々意識しながら、お互いを尊重し合えるような言葉で話していけるように心掛けましょう。その意識が広がれば周りにいい影響を与えて、やがてすべての人が住みやすい街になるのではないでしょうか。

主事 西川直輝

悩んでいることはありませんか?

隣保館は、「職場でのハラスメント」「職場や学校に行けない」など人権に関わる悩みを相談できる窓口です。
その他生活相談、職業相談等困っていることは何でも相談してください。



子ども会「クリスマス会」開催

まいとしこうれい こ かい かい ふだん つど なかよ とも まな あ
毎年恒例となりました子ども会「クリスマス会」。普段から集い仲良く共に学び合う
こ ひとり たいせつ いのち かんが きょうりょく あ たが
子どもたちが一人ひとりの大切な命についても考え方、みんなが協力し合ってお互いの
しんらいいかんけい ふか かい おも
信頼関係を深めていけるそんな会にできればと思っています。

★と き 令和7年1月20日(土) 9:00~12:00

★ところ かわのえりんぽかん 川之江隣保館

- ほん かい
○本のおはなし会
 - たんじょうめ いろ たいけん
○いのちの誕生迷路 体験
 - ワナゲ
 - サンタさんからのプレゼン
 - ほしゅう がっこう つう
※募集については学校を通じて

※募集については学校を通じて子ども会に案内しています。

かわのえ りょうりきょうしつ 川之江ふれあい料理教室おすすめレシピ

き ぼ だいこん にんぶん ★切り干し大根のサラダ(4人分)

材料

- きゅうり
 - にんじん
 - ロースハム

ぐらむ
25 g
ぼん
1本
ぐらむ
30 g
まい
2枚

A	○いりごま	こ 小さじ2
	○砂糖	おお 大さじ1
	○しょうゆ	こ 小さじ2
	○酢	おお 大さじ1
	○ごま油	こ 小さじ2



《レシピ》

- ① 切り干し大根はもみ洗いし、水に戻す。熱湯でさっと茹で、水にさらして水気を絞り、3cm
ぐらいの長さに切る

② にんじんは、千切りにしてゆでる。

③ きゅうりはせん切りにし、塩を少量ふっておく。

④ ロースハムは長さを半分に切り、せん切りにする。

⑤ Aの調味料を合わせる。

⑥ きゅうりの水気を絞り、にんじん、切り干し大根、ロースハムを⑤である。

当たり前と人権

「それは当たり前だよ」と決まったことのように言う言葉を耳にすることはありますか？例えば、それが数値などで明確な答えが存在して、みんなの認識が完全一致するようなものであれば、すべての人の「当たり前」となるのかもしれません。また、「当たり前」の価値観の基準も曖昧で、一人の「当たり前」がみんなの最善策で、正しい答えになるとも限りません。それは世の中の多くの事に絶対的な正解がないからです。みんな迷いながら自分なりの答えや最善策を探して行動していると思います。それでも時には失敗して、挫折して壁にぶつかったりしますが、案外その失敗から学ぶことが一番大事だつたりします。

自分の人生は自分が歩む道なので、周り人が「当たり前」による価値観を押し付けて決まるものでもありません。周りに当たり前を押しつけすぎるとその人の尊厳や人権を侵害することにもつながりかねません。一方で、自分の意見が、多くの人から賛同が得られれば、安心することもあります。ただ、先に周りから「これは～が当たり前だよね（当然だよね）」と決めつけたように言われると、それが同調圧力に感じる人もいるでしょう。そのことが先入観となり、かえって、選択肢を狭くさせたり、自分なりの答えを考えたり、進むべき道がわからなくなったりもします。

常に、相手の人の立場に寄り添っていくためにも「当たり前」と自分の意見を押し付けずに、「～と自分は思います。」など、断定しないような柔らかい言い回しで伝えることも必要ではないでしょうか。同じことを伝えようとしても「当たり前」とつけるより「自分はそう思います。」と言い換えるだけで、相手の意見を尊重しながら、自分の意見を伝えることができて、お互い委縮せずに、活発に意見の交換ができるような信頼関係を持つようになると思います。

みなさんも悩みのない人はほとんどいないのではないか？一見悩みがなさそうだったり、周りから小さな悩みに見えて、その人にとっては深刻な悩みがあつたり、悩みの大小は比べるものでも、比べるものではありません。差別も同じで、痛みの重さを周りと比べたりするものではありません。また、反差別の思いは誰もが持つ共通認識で、お互いの思いを関係を超えて理解できるようになれば、差別解消に向けて同じ方向を向いて一緒に進んでいけると思います。思いは強く持っていても、差別されている人の思いに寄り添って、考え続けるためには、常に自分の人権感覚をアップデートしないと、周りから発信される無自覚な「当たり前」に流されて、その思いが揺らいでしまう人もいるかもしれません。

みなさんもその人の立場に立ちきるということは簡単ではないことですが、普段何気なく使う言葉が実は周りへの同調やそれだけが正解だという押しつけになっていないか再確認してみましょう。そして、間違っていることには、間違っているときちゃんと声を上げていくことも大事です。ただ、その時には、必ず語尾や言い回しに気をつけたり、相手の言葉を切らずに、聞く側に回って、柔らかい表現などを意識していくことで、お互いの理解も深まり、人権を尊重し合える社会になると思います。